

平成30年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告

区市町村名 小平市

学校名 小平市立小平第十三小学校

1 事業目的 協議会名 小平市立小平第十三小学校 校庭芝生地域連携推進協議会

・校庭芝生を活用した活動を通して、児童の健全育成を図る。
・校庭芝生のよさを、改めて保護者・地域にアピールし、学校と地域の連携による芝生維持管理の体制を強化、継続する。

2 主な取組と成果

1 校庭の芝生を利用して、1年生から6年生で編制した小グループによる「たてわり班給食会」を行った。ふだんの給食の時間が、ピクニックに行ったような楽しい時間になった。年齢を超えて仲良く食事をする事で、上学年が下学年の面倒を行うようになり健全育成を図ることができた。

2 開校50周年の記念ソング「十三小の校庭で」を作成して、開校記念式典や音楽会で発表した。芝生のおかげで心も体も成長できた喜びの歌声は、副市長を始めとした来賓や、保護者から好評を得た。更に、「♪～十三小の校庭で 芝生にねころがってみた」で始まる歌と、よさこいダンスグループによる「芝生でダンス」は芝生のよさをアピールする良い機会になり、地元ケーブルテレビ局が、2回にわたってニュース番組として取り上げた。

1 「たてわり班給食会」平成30年10月12日(土)12時半～13時 全校児童

内容 約380名の児童が、28グループのたてわり班に分かれて給食をともにした。
メニューを焼きそば弁当にして実施し、当日はおかわりに長い列ができていた。

2 「開校50周年記念式典での記念ソングとダンスの発表」平成30年10月20日(土) 200人参加

内容 児童から募集した「学校のいいところ」のキーワードをもとに、地元の音楽活動家と連携して、開校50周年の歌「十三小の校庭で」を作成・発表。更によさこいグループによる、記念式典で芝生の上で踊りを披露。

3 「音楽会での「十三小の校庭」の発表」平成30年11月17日(土) 10時～10時半 300人参加

内容 「♪～十三小の校庭で 芝生にねころがってみた」で始まる歌を、音楽会で合唱した。
保護者からは、児童の健全な育成の中に芝生の存在が大きいことを改めて理解できたとの感想が寄せられた。



4 今後について

・新たにボランティアを確保し組織化していくためには、共働き家庭の増加や地域高齢者クラブ等での新規入会者が増えない状況など容易にはいかない環境にあり、この事業を継続して行っていく重要性が増している。

・10年に渡って本校の芝生を支えてきたボランティアの方々には、協議会での謝金の授受を是としない考えがある。謝金の用意が必ずしも協議会のメンバーの確保につながるわけではない。人と人とのかわりの中で、芝生の協力者を開拓するためにこの事業費を支出していく必要がある。